

# 未来に伝えたい「まいばらの水」12選

vol.11

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。

このコーナーでは、「未来に伝えたい『まいばらの水』」に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしていきます。

水道の蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる現代の暮らしの中で、忘れられつつある水や水を育む森の大切さを改めて感じていただき、米原の美しい水環境を未来へ受け継いでいくきっかけとなることを願っています。

## 十王水と

### 西行水（醒井）

この2つの水は、中山道沿いにあり、地藏川へと流れている湧水です。

十王水は、昔、浄蔵貴所という僧侶が山の岩石の下をへこめたところ、清水がコンコンと湧き出し、その後いかなる大干ばつの時も水が涸れたことはないといわれています。近くには十王堂があり、後世になって十王水と呼ばれるようになったと伝えられています。

（硬度106・4 mg/l 中硬水）  
また、西行水には、平安時代頃に、仲算という僧侶が岩を削

って水を出したという伝承が残されているほか、西行という僧侶に一目惚れした茶店の娘が、西行の飲みほした茶の泡を飲んだところ、身ごもり男の子が生まれ、これを聞いた西行が「まことに我が子なら元の泡に戻れ」と唱えたところ泡に消えたという昔話が残っています。

（硬度106・8 mg/l 中硬水）



▲十王水



▲西行水



まいばらの水イメージキャラクター  
スイナちゃん

お問い合わせ 経済環境部 環境保全課（伊吹庁舎） ☎58-2230 FAX 58-1630